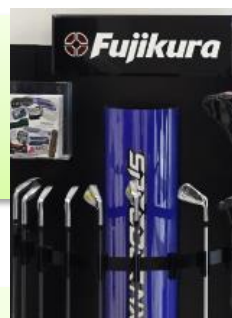


藤倉コンポジット株式会社原町工場様

会社概要

事業内容 ゴム製品の製造
(自動車部品、ゴルフクラブのカーボンシャフト等)
所在地 福島県南相馬市原町区



当社の働き方改革の主な取組

働きやすい職場環境の整備

育児休暇を取得した男性に対する自治体の補助金制度を活用するなど、同休暇の取得促進に努めています。使いきれなかった年休を最大100日まで「保存休暇」として認め、そのほかに最大420日の休職を認めるなど、休暇制度は充実しています。この制度を有効に使うことで療養する職員もいます。職員はお互いの休暇取得を尊重し合っていて、休みやすい環境が根付いています。

自発的なサークル活動やレクリエーション（新年会やバーベキュー大会など）を資金面で補助するなど、コミュニケーションの充実化を図っています。

職員の健康管理

各工場に設置した健康管理室を中心に、職員の健康管理を組織的に取り組んでいます。自治体の保健センターと連携して、歯科衛生士・栄養士・保健師等による健康講話（アルコールとの接し方や口腔管理の方法など）を実施しています。少人数に分けて毎月講話してもらうなど、方法も工夫しています。

各工場の健康管理室がテレビ会議等で意見を出し合い、禁煙、減塩、メタボ対策、血圧管理などに関する様々なチラシを作成しています。チラシは職場に掲示するなどして職員に向けて発信し、啓発しています。

2024年度は班長、副班長などの管理者に向けたセミナーを開催し、メンタルヘルス対策にも取り組んでいます。

定期的にストレスチェックを実施しています。集団分析の結果に基づき、各職場のリーダーには職場環境改善に協力を要請しています。

健康管理室について

各工場に設置された社内組織です。
原町工場の場合、管理者1名、保健師1名で構成されており、健康診断（事後措置の管理を含む）やストレスチェック（集団分析を含む）の対応のほか、健康管理に関するイベントを企画立案したり、職員からの健康相談に応じるなど、いわば「職場の保健室」として、健康管理に関する幅広い業務を担当しています。

意見交換の様子



人事総務チームリーダーの遠藤様(左)と綿貫労働基準部長(右)